

平成 23 年度 第一部会技術分科会 活動報告 (概要)

平成 24 年 7 月
一般社団法人 日本消火装置工業会

1. 委員会

(1) 委員構成

15 社 15 名で構成

(2) 開催回数

定例会 (原則 1 回/月) 11 回+合同委員会 1 回=計 12 回

2. 審議・確認事項

(1) 消防法令改正に当たっての要望書提出 (H23. 4~H23. 5)

技術委員会の指示により、消防法令改正に当たっての要望書を作成することになり、水系消火設備に係る事項について意見を募集、内容を審議した。平成 23 年 5 月に技術委員会へ提出した。

(2) ハウジング形継手の耐熱性実験 (H23. 4~)

当工業会として乾式配管への使用を自粛しているハウジング形継手について、その安全性を検討している。当初、普及が進んでいる海外規格の調査から開始したが、安全性に関する情報が得られなかったため、実験による確認を行うことにした。とりあえず、耐熱性の実力を確認する実験を平成 24 年 9 月に計画、準備を進めている。

(3) スプリンクラー設備の巻き出しフレキの施工方法調査 (H23. 7)

技術委員会の指示により、東日本大震災の被害調査の一環として、スプリンクラー設備の巻き出しフレキの施工方法調査を行った。11 社から、21 件の回答があったが、当工業会が推奨する耐震施工方法で施工されていない例も見られた。ただし、耐震施工の意識は高く、独自基準で対処しているとの回答が多かった。

(4) 長周期地震動に係る消防用設備等の実験協力 (H23. 7~H23. 10)

独立行政法人防災科学技術研究所の兵庫耐震工学研究センターでは、「首都直下地震防災・減災特別プロジェクト」を行っており、長周期地震動に係る消防用設備等の実験について、当工業会に協力依頼があった。スプリンクラー設備の配管やヘッドの施工方法等について情報提供し、平成 23 年 10 月に実験が行われた。

(5) 木造 3 階建て学校の火災実験協力 (H23. 9~H24. 2)

国土交通省の補助金事業の適用を受け、建築研究所と早稲田大学が中心となって、木造三階建て学校の安全性を確認する研究を行っており、スプリンクラーヘッドの作動確認について、当工業会に協力依頼があった。室内予備実験は平成 23 年 10 月、屋外での実大規模予備実験は平成 24 年 2 月に行われた。特に 2 月の実験は、全国に報道される大規模なものであり、多くの注目を浴びた。平成 25 年度には、屋外実大規模実験が予定されており、当工業会も参加する予定になっている。

(6) 負圧湿式予作動式スプリンクラー設備に使用できるスプリンクラーヘッドの工業会自主基準の検討 (H23. 10~)

負圧湿式予作動式スプリンクラー設備に使用できるスプリンクラーヘッドは、当該設備メーカーによる独自評価となっているが、工業会自主基準の制定について、第一部会委員からも (スプリンクラーヘッドの性能保証の観点から) 有益との意見が出されており、消防庁の期待も高まっていることから、実現に向けて検討することにした。平成 23 年 10 月より作業部会を立ち上げて検討を開始した。

3. 関連作業部会

(1) 消火設備設計・工事基準書改訂編集WG1

- ・平成 23 年度は、全 12 回のWGが開催された。
- ・今までの成果物として、屋内消火栓設備等設計・工事基準書（改訂版）を刊行した。
- ・現在、スプリンクラー設備設計・工事基準書の修正原稿を審議中。
- ・平成 24 年度の目標は、スプリンクラー設備設計・工事基準書の 50%以上の審議終了を掲げており、本改訂版の発刊は平成 25 年度を予定している。

(2) 負圧環境下でも使用可能なスプリンクラーヘッドの評価基準検討WG

- ・平成 23 年 10 月の発足以来、平成 23 年度は全 4 回のWGが開催された。
- ・当初の完了予定は平成 24 年 3 月であったが、試験条件等に疑義が生じ、実験による確認等が急遽追加されたこともあって、遅延している。
- ・平成 24 年度も継続検討することになったが、完了予定は平成 24 年 7 月としている。

4. その他

- (1) ステンレス協会が来会し、定例技術分科会の場を利用してステンレス管の普及促進を目的とした説明会が開催された。(H23. 4)
- (2) 易操作性 1 号消火栓等構成部品交換要領に関する疑義について、(一社) 日本消防放水器具工業会に問い合わせた結果、回答を頂いた。(H23. 4)
- (3) 屋内消火栓の設置上の疑義について、消防庁に問い合わせた結果、回答を頂いた。(H23. 5)
- (4) 小規模社会福祉施設に対する屋内消火栓の設置基準の疑義について、消防庁へ問い合わせた結果、回答を頂いた。(H23. 5)
- (5) 東京消防庁より、減圧弁の設置方法や、差込式結合金具についての問い合わせがあり、回答した。(H23. 5)
- (6) 東京消防庁の予防事務審査・検査基準（改訂第 9 版）の内容に疑義があり、問い合わせを行った結果、回答を頂いた。(H23. 6～H23. 7)
- (7) 消防法令仕様規定の根拠について、継続調査を行っている。(H23. 6～)
- (8) 連結送水管等の埋設配管部分の腐食事例について、調査を行った。(H23. 7)
- (9) スプリンクラー設備と連結散水設備の免除規定の疑義について、消防庁へ問い合わせた結果、回答を頂いた。(H23. 7)
- (10) 消防庁より、予作動式スプリンクラー設備の商品情報について提供協力依頼があり、会員からカタログ等を取り寄せ、提出するとともに、打合せ形式にて質疑回答した。(H23. 8～H23. 11)
- (11) 日本消防検定協会で行われたユニバーサルデザイン消火栓の性能確認実験に参加した。(H23. 12)
- (12) パッケージ型消火設備の PFOS 含有薬剤の対応について審議した。(H24. 1～H24. 2)

以 上